

FORUM REVIEW AF123

テーマ：ウェルビーイングに生きる・働く

講師：島田由香氏（株式会社 YeeY 代表取締役）



日程：2023年12月1日

ウェルビーイングとは「主観的に」いい感じ、と自分が思っている状態のこと。ウェルビーイングが向上する5つの切り口があり（図1）、ウェルビーイングが高い人は、健康で長寿、人間関係が素晴らしく、仕事のパフォーマンスも創造性も高く、社会性・レジリエンスが増すことがわかっている。幸せ（ウェルビーイング）による効果は仕事においてもエンゲージメント（熱意、他者へ関わろうとする意識）が高まり、イノベーション効果3倍、営業成績+37%、生産性1.3倍となることが明らかになっている。

しかし日本の組織において社員が「幸せに働く」ことはあまり注力されていない。米ギャラップ調査によると日本は熱意ある社員が極めて少なく、Actively disengaged（足を引っ張る）社員の割合が高い結果だ（図2）。①柔軟な働き方②DE&I③心理的安全性を満たすことで社員のウェルビーイングは向上し、組織のエンゲージメントは高まる。本当のコミュニケーション（向く/聴く/伝える）やQ12を取り入れること、働く目的を知ること、「体験ベースの学習機会」を作ることによって結果的に組織のウェルビーイングが向上する。まずは自分がどういう状態にあるとウェルビーイングが高まるのかを自分自身に問いかけてみる必要がある。

自然豊かな地域の農林水産業を手伝い、住民と対話できる「体験ベースの学習機会」を作っている。ポジティブな感情が生まれ、地域課題に関わりたいという意識が生まれる。産業やまちづくりへの貢献に、人生を豊かにする要素が詰まっている。

慶應義塾大学卒業後、パソナを経て米国コロンビア大学大学院にて組織心理学修士号取得。日本GEを経てユニリーバ・ジャパンにて取締役人事総務本部長就任。人のモチベーションに着目した独自の人事施策を多数実行した。2017年株式会社YeeYを共同創業し代表取締役に就任。日本企業や社会のウェルビーイングリテラシー向上に貢献している。一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会（PCW Japan）代表理事

Well-being(継続的幸福)を高める5つの要素

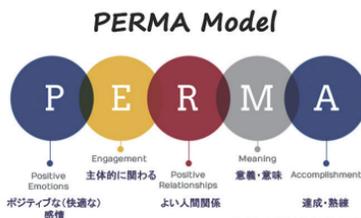


図1 Well-being（継続的幸福）を高める5つの要素

「熱意あふれる社員」日本は世界で最下位レベル

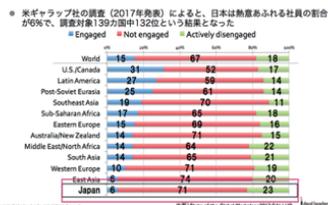


図2 「熱意あふれる社員」日本は世界で最下位レベル

図1及び2：株式会社 YeeY 島田由香氏